Panasonic®

単相3線分岐配線用ニュートラルスイッチ(NS)付ブレーカSHN型

サーキットブレーカ　SHN-30

品番：BSHN 2202

8M6 512 005

施工説明書

取扱説明書

施工説明書

施工店様へ

- 施工には電気工事士の資格が必要です。
- 施工前に必ずお読み頂き、確実に配線してください。
- 施工完了後、この説明書を必ず取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

⚠危険

必ず守る

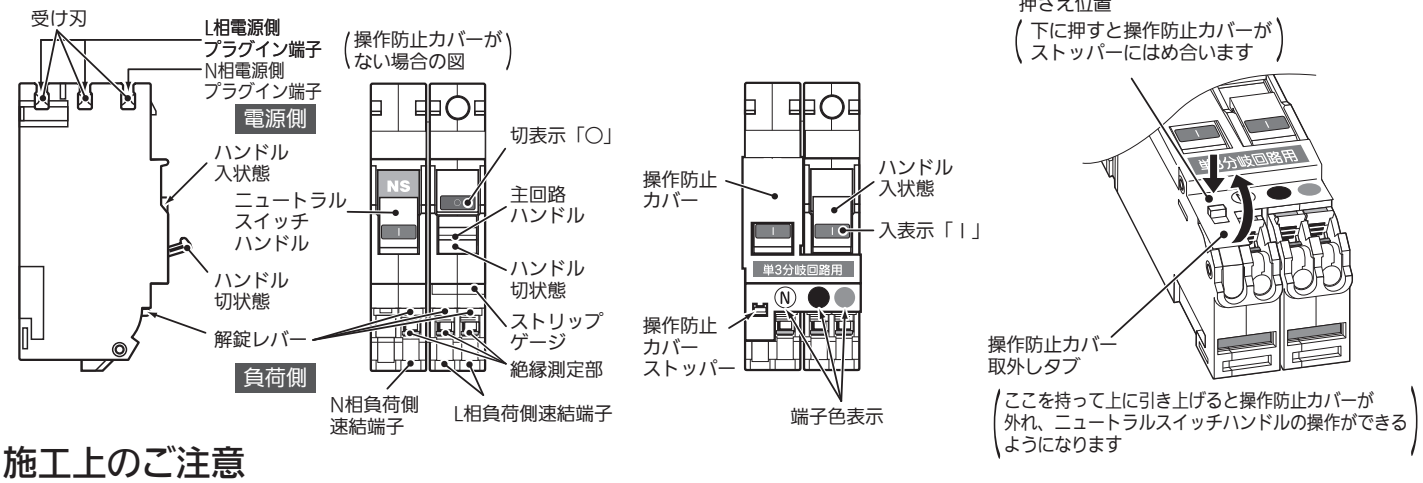
- 施工・点検時には必ず主電源を切る
  ～電源が入ったままの施工は感電の原因になります～

⚠注意

必ず守る

- 他社製分電盤には取付けない
  （パナソニック製分電盤コンパクトシリーズ専用）
  ～他社製分電盤に取付けると、発熱・発火の原因になります～
- 電源側プラグイン端子はバーへ確実に差込む
  ～差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります～
- 負荷側速結端子への接続は、接続完了表示（オレンジ色）が出るまで、電線を奥へ確実に差込む
  ～差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります～

■ 各部のなまえ



■ 施工上のご注意

- 端子の色表示と電線の色を合わせて接続してください。
- ブレーカの端子位置と相の関係は左図のようになります。

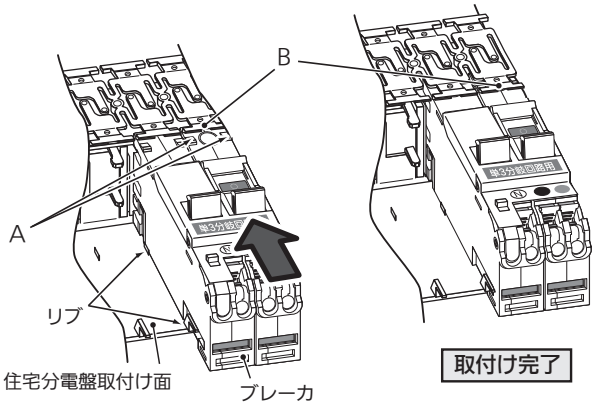
【センサユニット用電源などで相の識別が必要な場合】
分電盤への取付箇所により、L1・L2の位置が変わります。
配線時はご注意ください。

- 温度（+40 ℃以上）・湿度・粉塵・腐食性ガス・振動・衝撃・直射日光など、異常な周囲環境での使用は避けてください。
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80 %以下としてください。（内線規程）
- 施工時、機器内部に異物（電線くずやコンクリート壁材など）が入らないようにしてください。
- ブレーカの動作で2次的な影響を受ける負荷には、警報回路を併用してください。（内線規程）
  周波数制御回路（インバータ機器）には、配線保護用として1次側に設置してください。

■ ブレーカの取付け･取外し 《住宅分電盤への取付け・取外し例》

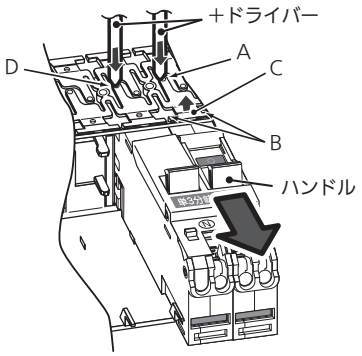
取付け

- 住宅分電盤取付け面のリブにブレーカを合わせ、バーに対して水平に奥まで差込む。（B部がブレーカのA部を乗り越えるまで差込む）



取外し

- 下図のA位置を+ドライバーで押す。
  （C部がブレーカのB部に乗り上げるまで押し込む）
- 下図のD位置を+ドライバーで押す。
  その状態でブレーカのハンドルに指を掛け、負荷側へ水平に引いて外す。



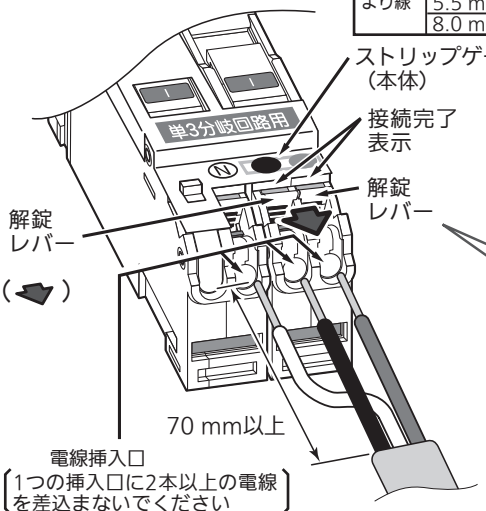
■速結端子への電線接続

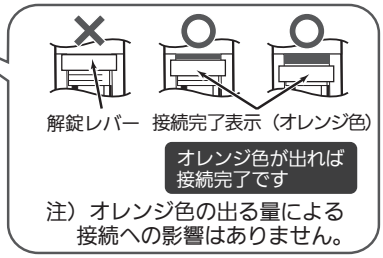
＊Cu（銅）単線専用（より線の場合は棒圧着端子使用）【下表参照】

接続可能電線		適合棒圧着端子品番 パナソニック製	注意事項
Cu（銅）単線	φ1.6		定格電流30 Aは接続不可
	φ2.0		
	φ2.6		
Cu（銅）より線	2.0 mm²	BB9924	定格電流30 Aは接続不可
	3.5 mm²	BB9921	
	5.5 mm²		
	8.0 mm²	BB9923	

- 電線の被覆をむく。
  〔本体のストリップゲージに電線を合わせ、15 mmむく〕
- 電線を差込む。
  〔電線挿入口から入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差込む〕

注）電線の変形・腐食は、発熱・発火の原因になります。
電線をむき直してから接続してください。オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。発熱・発火の原因になりますので電線のむき長さを確認の上、接続し直してください。





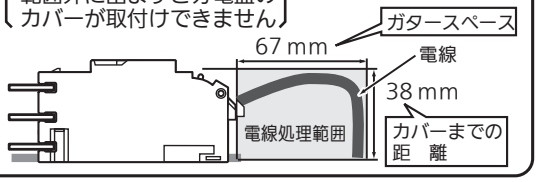
注）オレンジ色の出る量による接続への影響はありません。

＊電線を抜く場合は、解錠レバーを矢印方向（➡）に引きながら電線を引いてください。

〔φ2.6および8.0 mm²電線は抜きにくい場合があります。そのときは本体を分電盤から取外し、電線を抜いてください〕

注）解錠レバーの操作力は約7 Nです。
押込み荷重が高すぎる(100 N以上)と破損にいたる場合があります。

注）接続電線は電線処理範囲内で配線してください。
〔範囲外に出ますと分電盤のカバーが取付けできません〕



■施工後のご注意

- 施工後、ニュートラルスイッチのハンドルを入「|」にし、操作防止カバーを閉めてください。
  （操作防止カバーはストッパーに確実にはめ合わせてください）

■保守点検上のご注意

- 回路点検時には、必ず主回路ハンドルを切「○」にした後、ニュートラルスイッチハンドルを切「○」にしてください。
- 主回路ハンドルが切「○」になっても、ニュートラルスイッチハンドルは連動して切「○」になりません。
  （ニュートラルスイッチハンドルで負荷電流の開閉はできません）

取扱説明書

（保管用）

取扱者様へ

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 点検・交換には電気工事士の資格が必要です。
- 取扱前に説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

⚠危険

禁止	●端子部にはさわらない ～感電の原因になります～

⚠注意

必ず守る	●点検や修理は電気工事士の資格者が行うこと ～有資格者以外の電気工事は感電や火災の原因になります～
禁止	●ニュートラルスイッチハンドルは操作しないこと ～ブレーカ故障の原因になります～

■取扱上のご注意

- 主回路ハンドルの再投入〔入「|」〕後、即動作する時は負荷が短絡状態か、機器の異常です。原因を取り除いた後、主回路ハンドルを入「|」にしてください。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

施工店　　電　話

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012

8M6 512 005
PC0308-41212